

行政から見た EHR への期待



長浜市健康福祉部

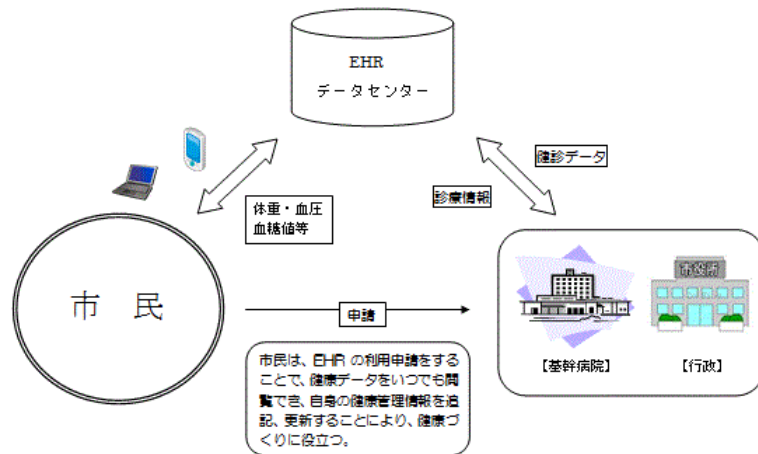
健康推進課長 藤居 敏

1. 長浜市の概況

- ・平成22年1月1日 1市6町合併
- ・人口12万5千人 面積539.48km²
- ・市域の約7割が山間部
- ・無医地区に準じる地域 2カ所

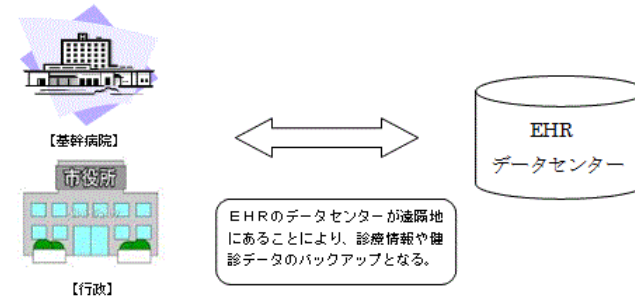


長浜市民の健康づくり

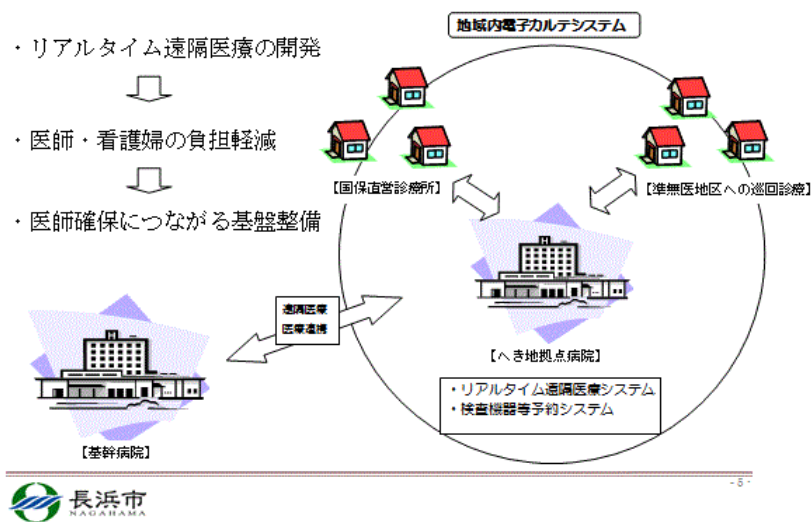


災害時・災害時における防災機能

- ・災害等の非常時における診療情報や健診データのバックアップとして有効
- ・携帯電話等の携帯端末へのプッシュ方式データ送信による災害時への備え



長浜市のへき地医療対策



0次予防コホート事業追跡調査への活用

- ・0次予防コホート事業とは、2007年に長浜市と京都大学が共同で推進しているゲノムコホート研究のことであり、事業への参加者は、約1万人である。
- ・約1万人の医療情報を追跡調査するには、仕組みをつくる必要がある。



- ・EHR システムが構築されれば、0次予防コホート事業参加者の基幹病院における医療データを収集することが可能となる。

その他の事業展開について

- ・(仮称)健康カード導入によるトータル的な健康づくりシステムの構築。
 - ・特定健診
 - ・乳幼児健診
 - ・各種がん健診
 - ・予防接種
 などの予約や履歴管理を行う等。

事業実施における課題

- ・各医療機関の患者名寄せのための共通IDについて
国（総務省：マイナンバー、厚労省：(仮称)医療ナンバー）の動向
県（地域医療再生計画）の動向
- ・EHR システムの民間診療所への広がりについて
- ・院外処方における薬剤情報のデータ反映について